

## 区立図書館等の検討経過及び今後の予定について

区立図書館、地域開放型学校図書館、学校図書館について、これまでの検討の経過及び今後の予定について、次のとおり報告する。

### 1 区立図書館のあり方について

#### (1) 検討の経過

◎「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」(平成28年(2016年)4月策定)

○おもな取り組み

- ・個人や地域の様々な学習活動への支援

図書館は、地域の情報拠点として、区民の学びと自立を支え、各館の専門性に基づいて、生活や地域の課題解決を支援します。また、区にゆかりのある作家・文化人や観光資源情報、郷土に関する資料を収集・発信するほか、地域資源を電子化して提供します。

- ・学校と連携した読書活動の推進

子どもや区民の利便性の向上を図るため、地域開放型学校図書館の整備を計画的に進めます。

子どもの読書活動を推進するため学校図書館を充実するとともに、学校・地域・家庭、図書館が連携し、子どもたちの自主的な読書活動の動機付け等を進めていきます。

○実現へのステップ

- ・本町図書館・東中野図書館を統合し、第三中と第十中の統合新校へ整備
- ・地域開放型学校図書館の設置

### 2 中野東中学校等複合施設内図書館の整備

◎中野東中学校等複合施設整備基本設計(平成29年(2017年)10月)

◎新図書館及び地域開放型学校図書館等運営計画検討業務委託報告書(平成30年(2018年)9月)

#### (1) 施設概要

- ・地上10階建のうち7階、8階、9階部分
- ・蔵書 約17万冊(子ども向け4万冊、ビジネス向け7千冊含む)
- ・蔵書はICタグにより管理する
- ・席数 約300席

## (2) 7階 子ども・子育て支援フロア

### ①テーマ

児童サービスを基本として、子どもの協働的・主体的学習や子育て世帯の交流の場として「にぎやか」なフロアとする。

### ②ゾーン構成

- ・書架部分（児童書）
- ・多文化・外国語コーナー（児童向け）
- ・ラウンジ（飲食や交流のできるスペース）
- ・子育て支援コーナー（育児関連書、子育て関係情報の掲示等）
- ・プレイルーム（おはなし会等イベントスペース）
- ・赤ちゃん向け絵本コーナー
- ・ティーンズルーム（中高生の学習・活動スペース）

## (3) 8階 一般書フロア

### ①テーマ

フロア全般で一般向け資料を配架し、一般向け利用者サービスを行う。

### ②ゾーン構成

- ・書架部分（一般向け）
- ・地域・参考資料コーナー
- ・芹沢光治良文庫（特別展示室）
- ・対面朗読室（障害者サービス）
- ・7～9階吹抜け書架
- ・事務スペース、閉架書架

## (4) 9階 ビジネス支援フロア

### ①テーマ

従来の図書館が持つ機能・役割を発展させ、区民一人ひとりが「多様な生き方の選択肢」を知り、自らが考え、行動できるようにするための支援（ワーク・ライフ支援）を行う。

### ②ゾーン構成

- ・受付
- ・プレゼンコーナー（発表の場）
- ・コワーキングスペース（打合せや作業の場）
- ・ホットマガジンプレイス（ビジネス図書、雑誌を配架）
- ・ミーティングルーム（予約制）
- ・オンラインデータベースコーナー（ビジネス情報・雑誌等データ閲覧）
- ・ベンダーコーナー（自販機設置、飲食可能エリア）
- ・コーディネーター相談カウンター（ワーク・ライフに関する相談対応）

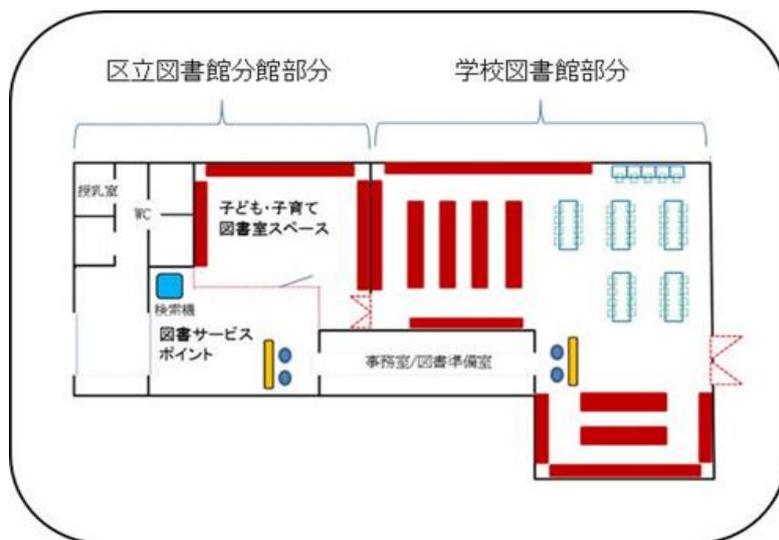
## (5) 今後の予定

- ・開設予定 令和4年(2022年)1月～2月（予定）

### 3 地域開放型学校図書館

#### (1) 検討の経過

- ◎美鳩小学校校舎等整備基本設計（平成30年(2018年)1月)
- ◎みなみの小学校校舎等整備基本設計（平成30年(2018年)1月）
  - ・利便性やセキュリティ確保のため1階に配置
  - ・学校の出入口と明確に分離
  - ・蔵書は約5千冊（児童書1千冊、絵本2千冊、一般書2千冊）
  - ・10席程度の閲覧室
  - ・区立図書館と学校図書館の統合システムの導入
  - ・指定管理者が配置する職員との連携による運営
- ◎新図書館及び地域開放型学校図書館等の運営計画に係る検討報告並びに今後の図書環境の充実に向けた検討の進め方について（平成30年(2018年)12月6日）
  - ・図書サービスポイントとして区民の身近な読書施設となるとともに、小学校という立地を考慮し、子ども・子育て図書室として、就学前の親子や児童にとって居心地の良い場所となることが望まれる。
  - ・地域、ボランティア、学校が連携・協働し、図書館活動を中核とした、子どもと地域コミュニティの学びの場として機能するよう運営を行うことが求められる。



#### (2) 今後の予定

- ◎学校図書館の機能充実及び地域開放型学校図書館の整備について（平成30年(2018年)4月25日）
  - ①校舎改築が予定されている学校
    - 令和2年度(2020年度)      みなみの小、美鳩小
    - 令和3年度(2021年度)      中野第一小
    - 令和4年度(2022年度)      令和小
    - 令和5年度(2023年度)      鷺宮小・西中野小統合新校、南台小、平和の森小
    - 令和6年度(2024年度)以降   中野本郷小、桃園第二小

②校舎改築が予定されていない学校

学校運営に支障のない範囲で、学校図書館を一般の区民に開放する。

江古田小、武蔵台小、桃花小、白桜小、緑野小、塔山小、谷戸小

③キッズ・プラザ整備が予定されている学校

キッズ・プラザの整備にあわせて②と同様の取扱いで実施する。

令和2年度(2020年度) 江原小

※②、③について、平成30年度にセキュリティ確保の検証を実施した。

専用出入口・動線、バリアフリー対応等について調査した結果、図書館利用者と児童の動線を区画して安全を確保するための改修工事が相当な規模となること、2階以上の学校図書館ではエレベーター設置が必要なため地域開放型図書館の面積が十分確保できない等から、校舎改築時の整備を検討する。

#### 4 学校図書館の機能充実

##### (1) 検討の経過

###### ○学校図書館システムの導入

- ・対象校 全小・中学校
- ・区立図書館システムとの統合的な運用を図る。

###### ○システム導入の効果

- ・他校の図書館蔵書の検索、予約のシステム対応が可能となり、学校間の蔵書の相互利用による学校図書館資料の統合的な活用が促進される。
- ・区立図書館の蔵書について、学校図書館での予約・受け取りが可能となり、授業等での区立図書館資料の一層の有効活用が図られる。
- ・読書記録の電子化によりデータの有効活用の可能性が広がり、児童・生徒は読書計画を立てる参考とすることができる。

###### ○業務委託の導入による充実

- ・学校図書館指導員を主体として書架整理等の一部業務委託導入による調べ学習支援等の充実について検討する。

##### (2) 今後の予定

- ・運用開始時期 令和2年(2020年)4月